

テランガナ州概要

2024年9月
在チェンナイ総領事館

1 基礎データ

- * 州都: ハイデラバード
- * 人口: 3772万5000人(2021年推計)
- * 面積: 11万2077km²(県(District): 33)

- * 識字率: 66.54%(男性: 75.04%、女性: 57.99%)(2011年)
- * 宗教別人口比率: ヒンドゥー教; 85.56%、イスラム教; 12.75%、キリスト教; 1.28%(2011年)
- * 主要言語: テルグ語

2 政治

(1) 州政府

- * 州知事: タミルサイ・サウンダラジャン
(Tamilisai Soundararajan)
(2019年9月～)
- * 州首相: A.レバント・レバント・レッディ
(A.Revant Reddy)(kongress)
(2023年12月～)



レッディ州首相

(2) 州議会: 二院制

下院(定員: 120)(任期5年)(2028年12月任期満了)

- * 与党: kongress (INC)64、インド共産党(CPI)1
- * 野党: インド国民会議(BRS)39、インド人民党(BJP)8、ムスリム評議会(AIMIM)7など

上院(定員: 40)(任期6年、2年毎に3分の1の改選)

- * 与党: テラガナ国民会議(TRS)33、ムスリム評議会(AIMIM)2
- * 野党: kongress (INC)1など

(3) 概況

2014年のアンドラ・プラデシュ州との分離独立後、ラオBRS政権が2期9年にわたり一貫して政権を握り、比較的順調に経済を拡大。しかし、現政権批判などから、2023年12月の州議会選挙で、kongressが勝利し、レッディ新州首相が就任。またBJPも議席を増加。

3 経済

(1) 主要指標

- * 名目州内総生産(GSDP): 15兆198億ルピー(2023年度)
- * 1人当たり所得: 35万6564ルピー(2023年度)
- * 実質GSDP前年度比成長率: 14.09%(2023年度)
←15.79%(2022年度)

(2) 特徴

主要産業はIT、製薬、繊維、鉱物など。国内有数のIT都市であるハイデラバードにはマイクロソフト、アップル、グーグル、アマゾンなどのグローバル企業が進出。

医薬品原薬はインド全体の生産高の40%、輸出高の50%を占める。州政府はハイデラバード近郊で2025年までに約19,000エーカーの製薬産業集積地ファーマシティを整備予定。

産業構成比は第一次産業17%、第二次産業20%、第三次産業63%(2023年度)。

(3) 日系企業の動向

進出日系企業は25社、168拠点(2023年10月現在)。主な進出企業は東芝(送配電機器製造販売)、日立製作所、ニプロ(医療機器販売)、アルバック(真空装置等販売)、大気社(クリーンルーム)など。

日本企業によるインドの高度技術人材採用を促進するため、インド工科大学ハイデラバード校学生向けの日本企業説明会「JAPAN DAY」をJETROとJICAが毎年開催。

2021年、東芝電力流通システム・インド社の人材開発施設内に日本式ものづくり学校(JIM)が開講。

4 在留邦人

- * 在留邦人数: 63人(2024年9月)
- * ハイデラバード日本人会: 56名(2024年9月)